

# 一般会計 土木費 予算説明資料

## ( 建設部 )

資 料 名	担当課	頁
急傾斜地崩壊対策促進事業について	建設政策課	1
令和7年度 主要事業箇所図		2
市道0038道路改良事業（蓮正寺地内）について		3
市道5036道路改良事業（羽根尾地内）について		4
小田原駅東西自由連絡通路西口側防煙シャッター修繕事業（城山一丁目地内）について		5
小田原駅東西自由連絡通路屋根改修事業（城山一丁目地内）について		6
市道2421道路改良事業（久野地内）について		7
市道2189道路改良事業（栄町一丁目地内）について		8
市道0077道路改良事業（中村原ほか地内）について	道水路整備課	9
市道3182道路改良事業（中曽根地内）について		10
市道0039道路改良事業（清水新田地内）について		11
市道0032道路改良事業（久野地内）について		12
足柄2号踏切改良事業（井細田ほか地内）について		13
準用河川下菊川改修事業（鴨宮地内）について		14
多自然水路整備事業（曾比地内）について		15

市営住宅改修工事について	建築課	16
緑の基本計画改訂支援事業について	みどり公園課	17

# 急傾斜地崩壊対策促進事業について

## 1 概要

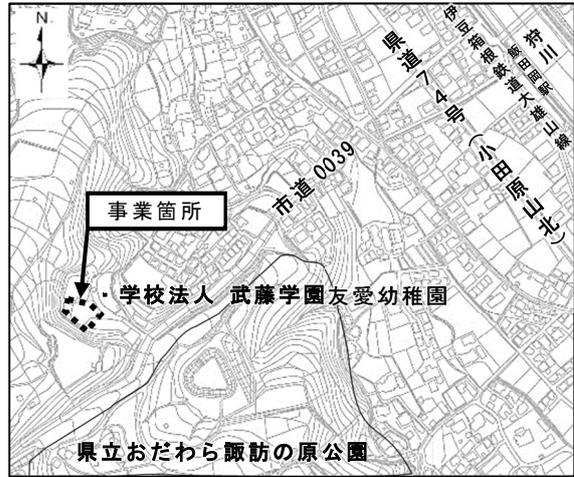
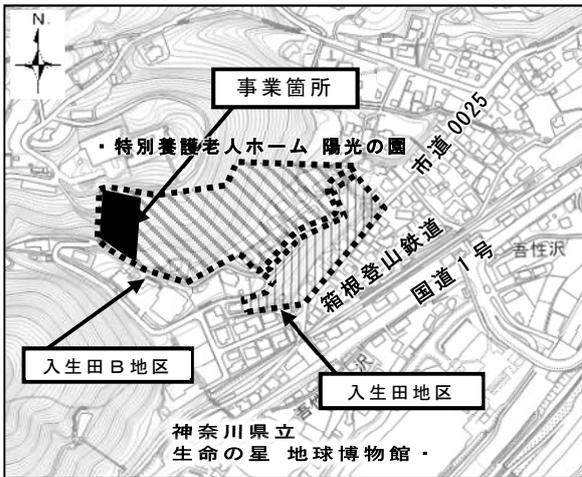
県が実施する急傾斜地崩壊対策事業について、県と市町村が締結している協定書に基づき、事業費の一部を負担する。

## 2 事業内容及び位置図

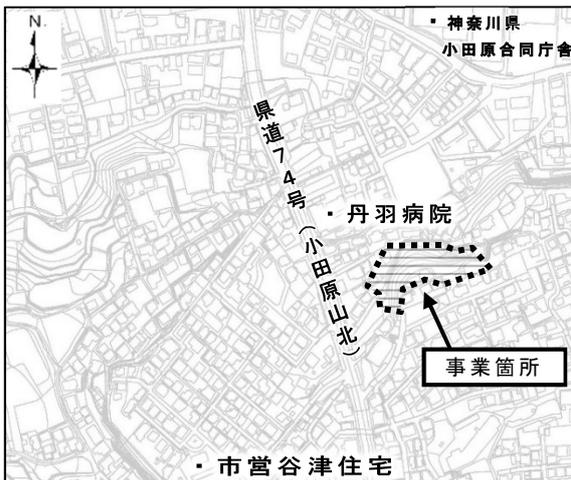
(1) 入生田地区 (丈量測量)

(2) 入生田B地区 (工事、文化財調査)

(3) 北ノ窪地区 (丈量測量)



(4) 城山D地区 (地質調査、設計)



# 【資料】道水路整備課 令和7年度 主要事業箇所図

## 河川改良費

(県補助事業)

番号	工事路線	場所	概要
1	寺下排水路	曾比	玉石護欄岸(兩岸) 延長50m

(市単独事業)

2	學用河川下流川	鴨宮	U型 U5300mm×4000mm 延長20.7m
3	學用河川河口川	田島塚小	護岸詳細設計業務委託 一式

## 河川維持費

(市単独事業)

1	池上排水路	久野	断面補修工 延長200m
2	めだかの学校	萩原	護岸台修繕工 2箇所
3	普通河川砂留田川	上曾我	築堰工(兩岸) 延長70m

## 土木総務費

(国庫補助事業)

番号	工事路線	場所	概要
1	市道0038	蓮正寺	用地測量 一式 面積27.40㎡
2	市道5036	羽根尾	用地取得 物件補償 面積02.81㎡ 1件

## 道路新設改良費

(国庫補助事業)

1	市道2189	泉取一丁目	特殊部・管線部設置 引込・進捗管理費 延長100m 一式
2	市道0031	足柄2号踏切	踏切道拡張 延長30m 用地取得 面積34.13㎡ 物件補償 1件

(市単独事業)

3	市道2421	久野	道路改良 延長45m 幅員4.3m
4	市道0032	久野	用地測量 一式 面積14.30㎡
5	市道0039	清水新田	用地取得 物件補償 面積34.13㎡ 1件
6	市道0077	中村原	道路改良 延長34m 幅員2.2m(歩道部)
7	市道3182	中曾我	道路改良 延長35m 幅員5.0m

## 道路維持費

(国庫補助事業)

1	市道4264	野川	舗装修繕 延長250m 幅員4.5m 面積1000㎡
2	市道0069他1路線	西大友塚小	舗装修繕 延長250m 幅員6.0m 面積1500㎡
3	市道0032	久野	舗装修繕 延長100m 幅員6.0m 面積600㎡
4	市道0027	萩原	舗装修繕 延長100m 幅員3.5m 面積350㎡
5	市道4817	成田	舗装修繕 延長100m 幅員6.0m 面積600㎡

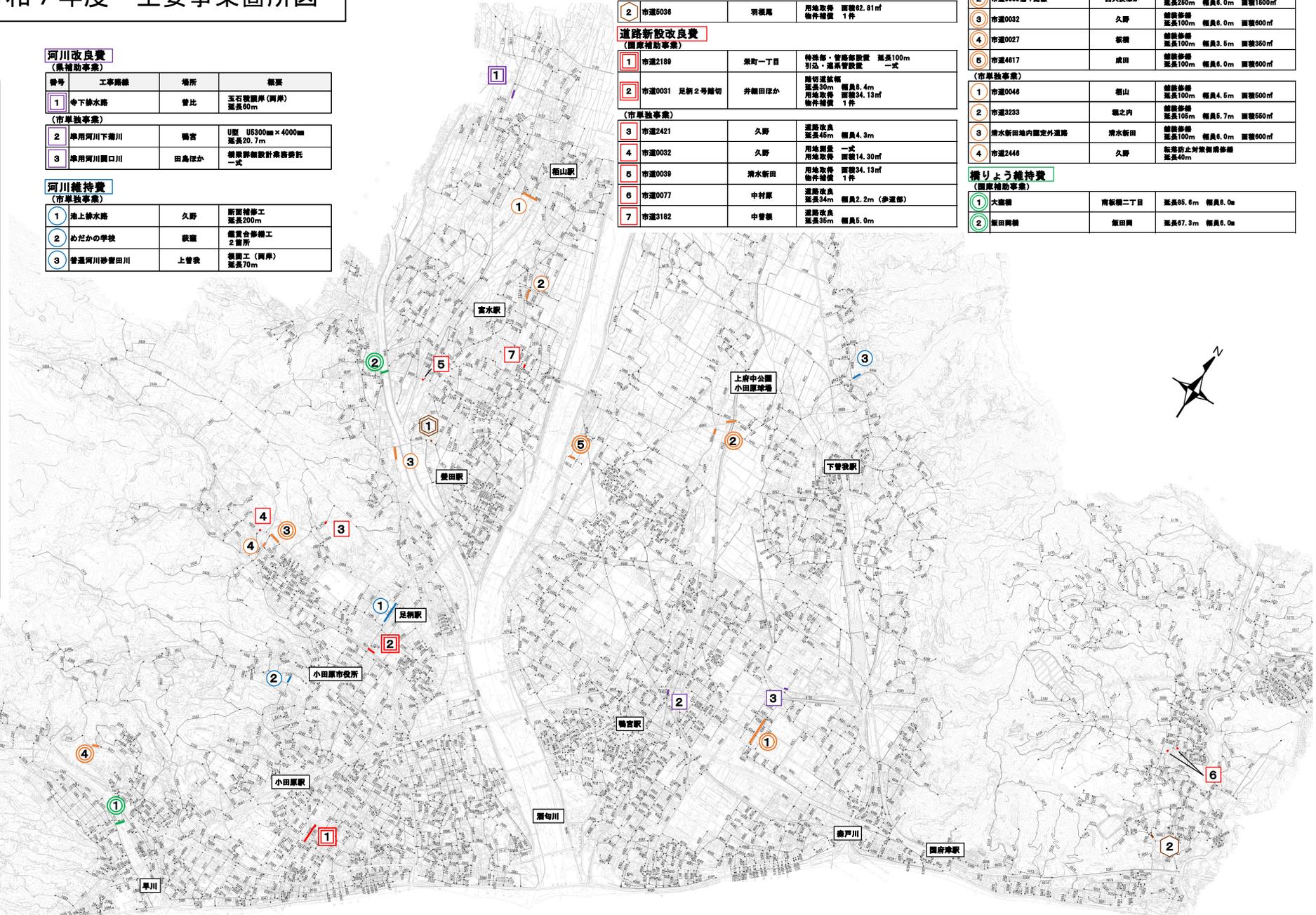
(市単独事業)

1	市道0046	箱山	舗装修繕 延長100m 幅員4.5m 面積500㎡
2	市道3233	堀之内	舗装修繕 延長105m 幅員5.7m 面積550㎡
3	清水新田地内指定外道路	清水新田	舗装修繕 延長100m 幅員6.0m 面積600㎡
4	市道2446	久野	低湾防止対策補修 延長40m

## 橋りょう維持費

(国庫補助事業)

1	大倉橋	南飯橋二丁目	延長85.6m 幅員8.0m
2	飯田岡橋	飯田岡	延長47.3m 幅員6.0m



## 市道 0038 道路改良事業（蓮正寺地内）について

### 1 目的

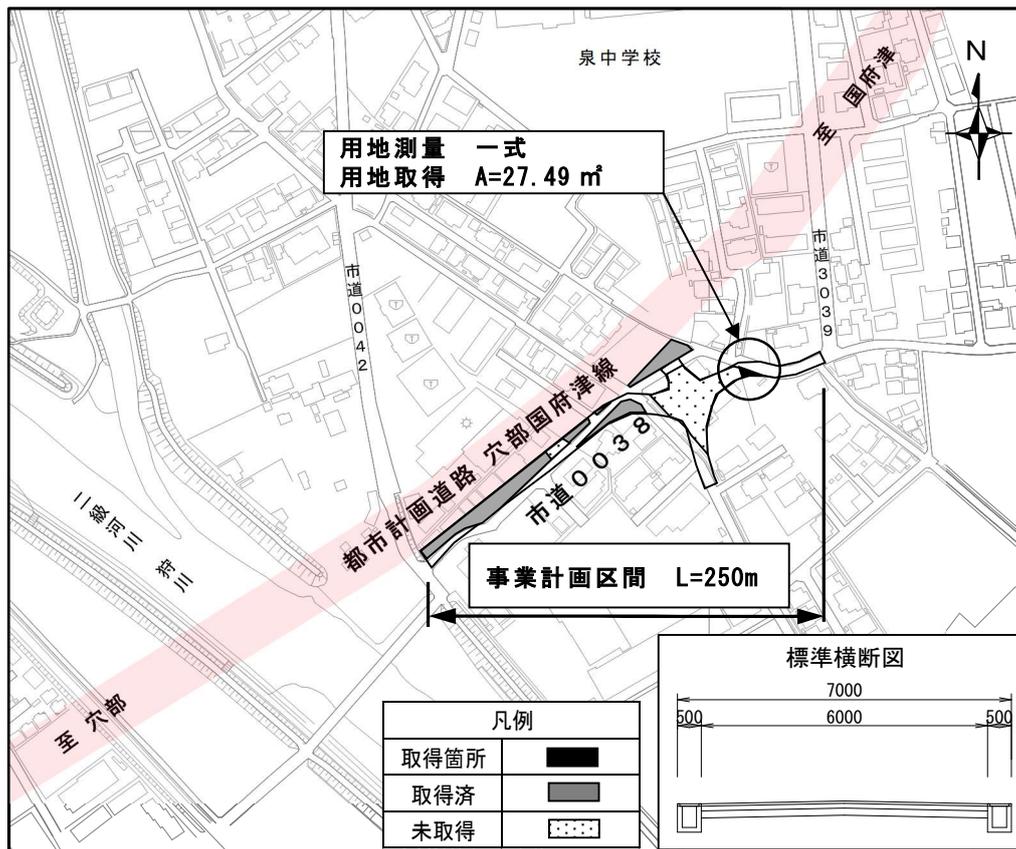
県施行の都市計画道路穴部国府津線の整備を促進するため、一体的な改良が必要となる市道 0038 について、県と連携し整備する。

### 2 事業概要

用地測量 一式

用地取得 面積 27.49 m<sup>2</sup>

### 3 位置図



## 市道 5036 道路改良事業（羽根尾地内）について

### 1 目的

県施行の都市計画道路小田原中井線の整備を促進するため、一体的な改良が必要となる市道 5036 について、県と連携し整備する。

### 2 事業概要

用地取得 面積 62.81 m<sup>2</sup>

物件補償 1 件

### 3 位置図



## 小田原駅東西自由連絡通路西口側防煙シャッター修繕事業（城山一丁目地内）について

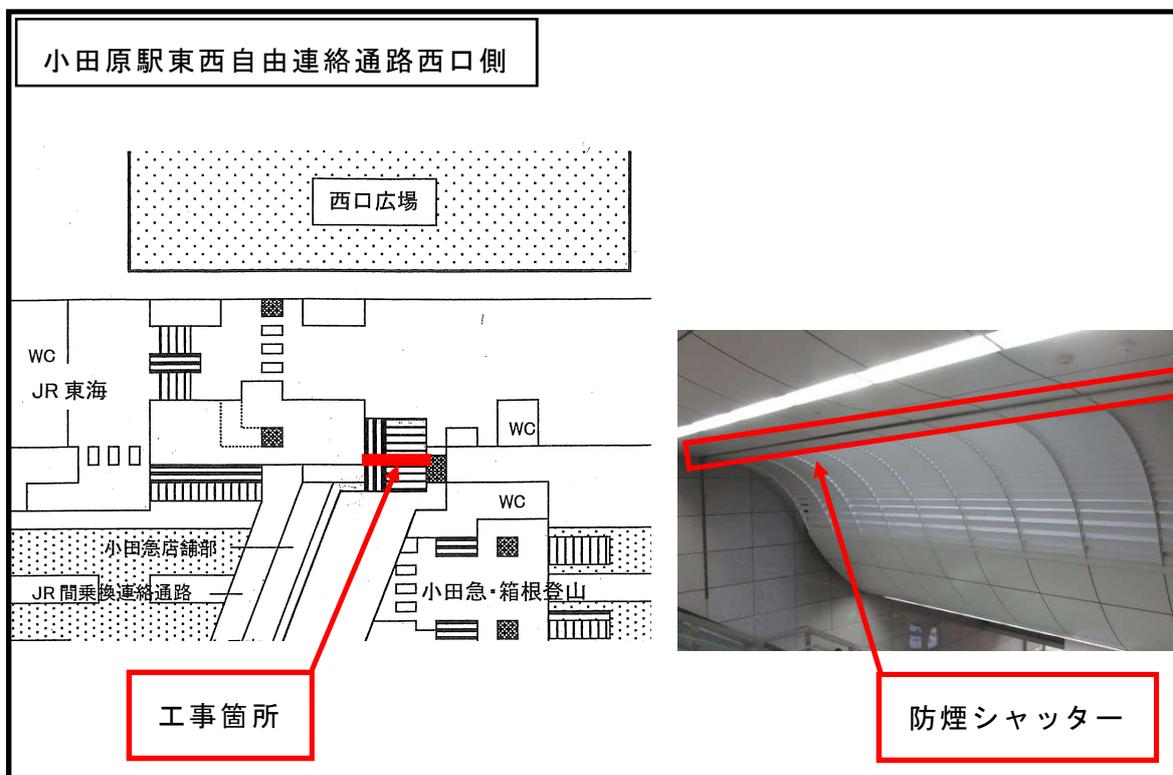
### 1 目的

小田原駅東西自由連絡通路の西口側に設置している防煙シャッターに動作不良が生じているため、通路の火災対策として修繕工事を実施する。

### 2 工事概要

防煙シャッター修繕 1基

### 3 位置図



## 小田原駅東西自由連絡通路屋根改修事業（城山一丁目地内）について

### 1 目的

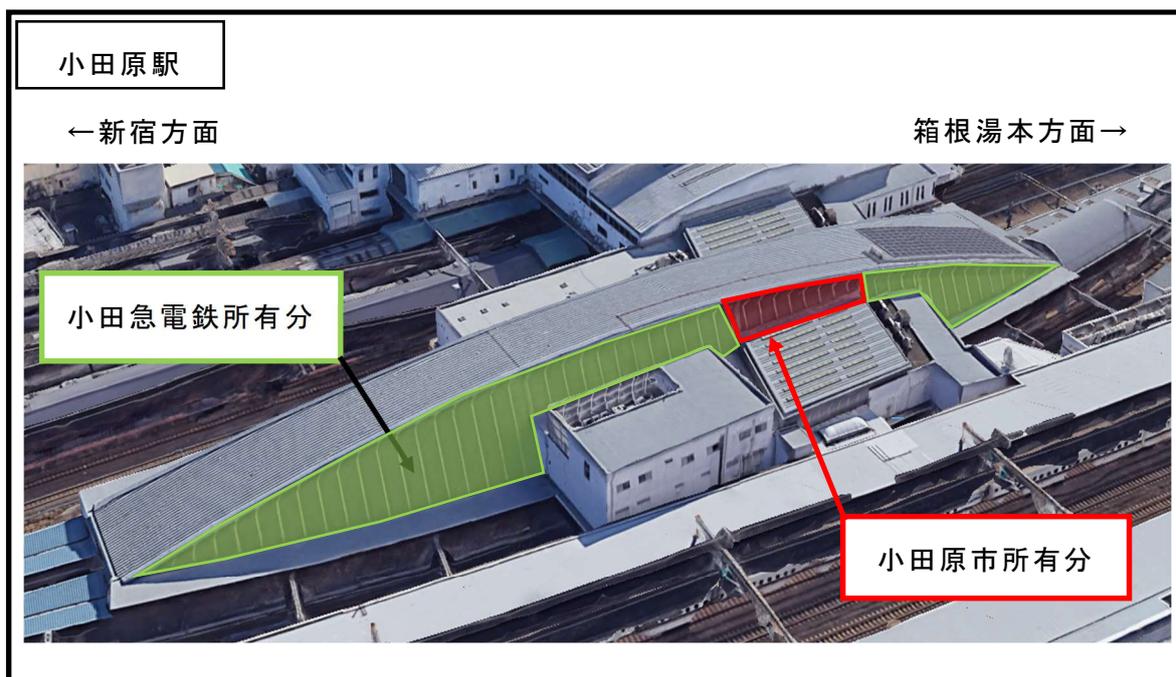
本市と小田急電鉄株式会社が区分所有している小田急小田原駅の屋根側面部のハイサイドポリカについては、近年、劣化等による雨漏りの発生に加え、強度不足であることが判明した。今回、小田急電鉄株式会社が実施する屋根側面部の改修にあたり、小田急電鉄株式会社と協定書を締結し、本市所有分の改修費を負担するものである。

### 2 事業概要

ハイサイドポリカ改修 82 m<sup>2</sup>

全体	1,322 m <sup>2</sup>	小田原市所有分	82 m <sup>2</sup>
		小田急電鉄所有分	1,240 m <sup>2</sup>

### 3 位置図



## 市道 2421 道路改良事業（久野地内）について

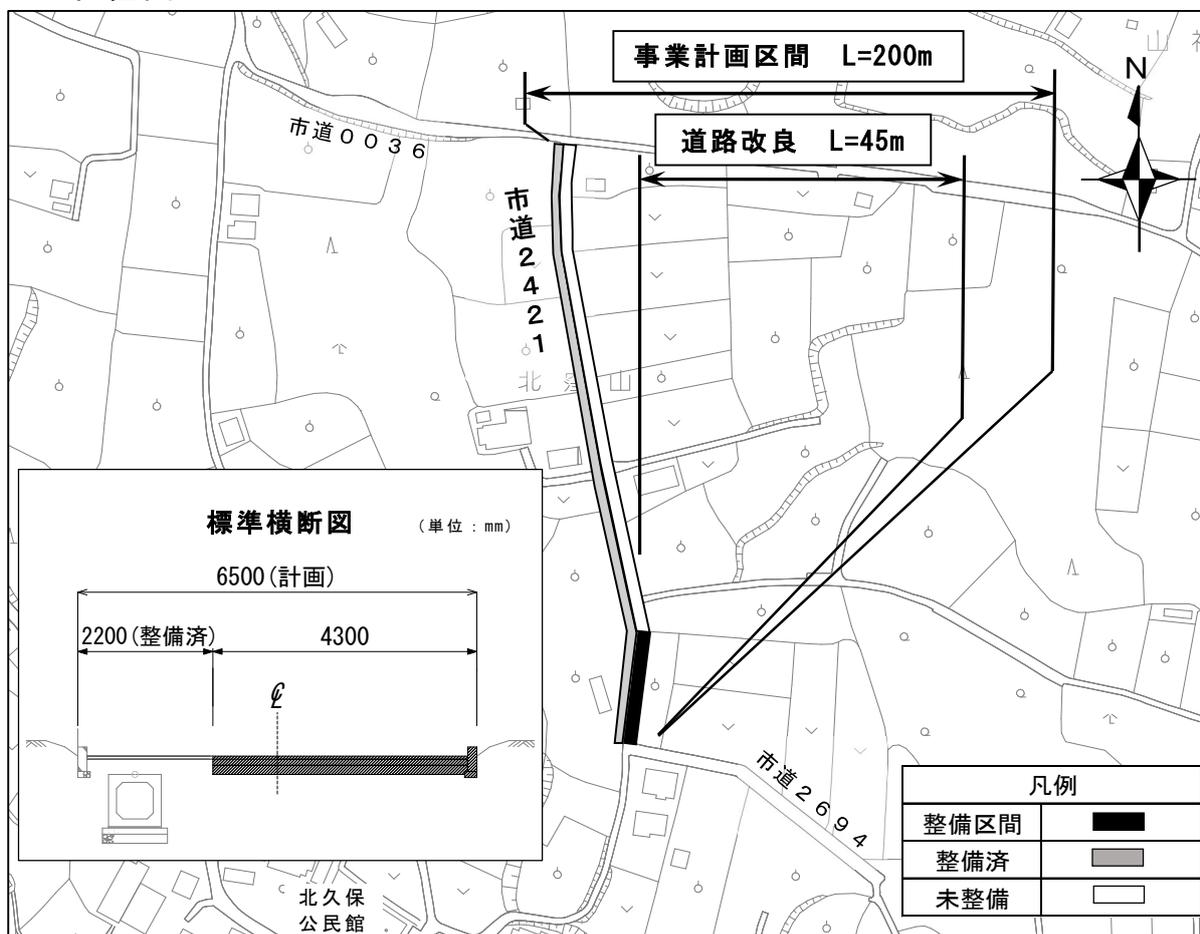
### 1 目的

市道 0036（久野峰線）へのアクセス向上を図る。

### 2 事業概要

道路改良 延長 45m 幅員 4.3m

### 3 位置図



## 市道 2189 道路改良事業（栄町一丁目地内）について

### 1 目的

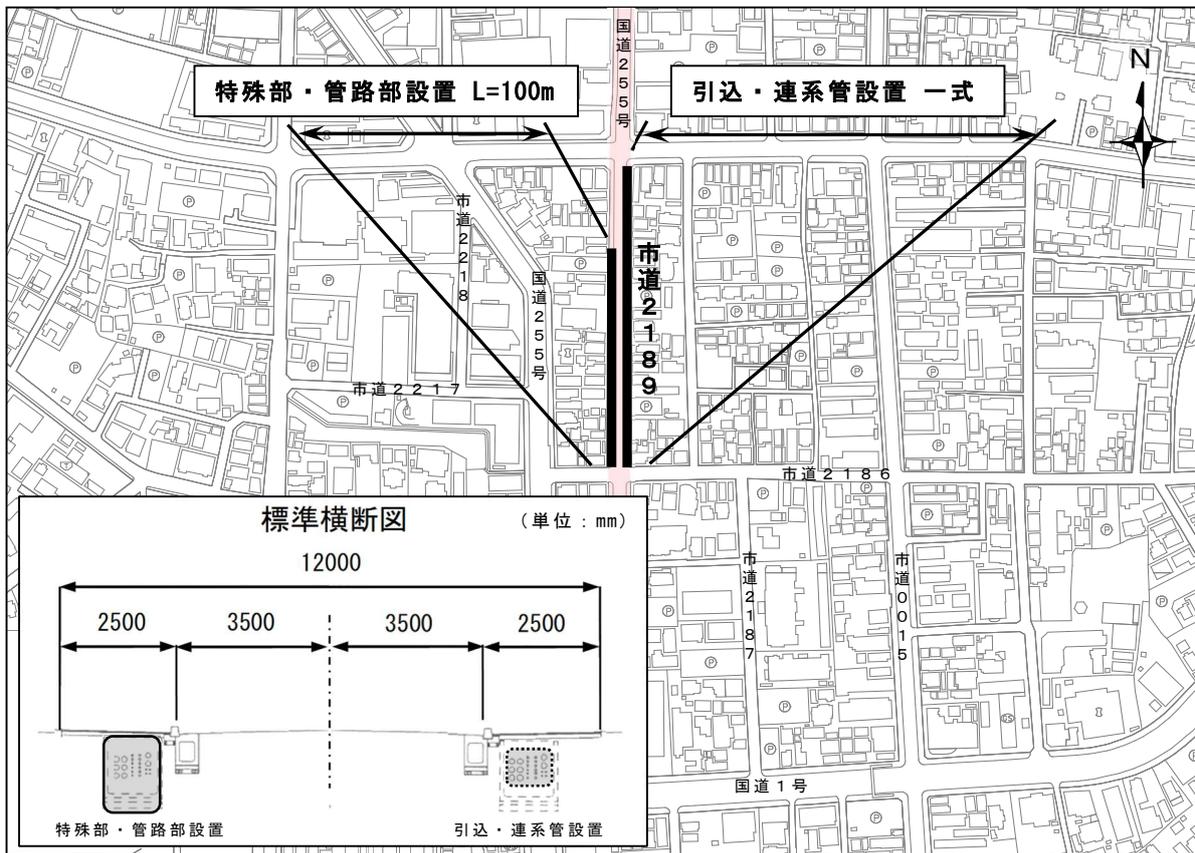
銀座通りの景観向上と防災機能の強化を図るため、縣市連携により、市道区間の電線共同溝整備を行う。

### 2 事業概要

特殊部・管路部設置 延長 100m

引込・連系管設置 一式

### 3 位置図



## 市道 0077 道路改良事業（中村原ほか地内）について

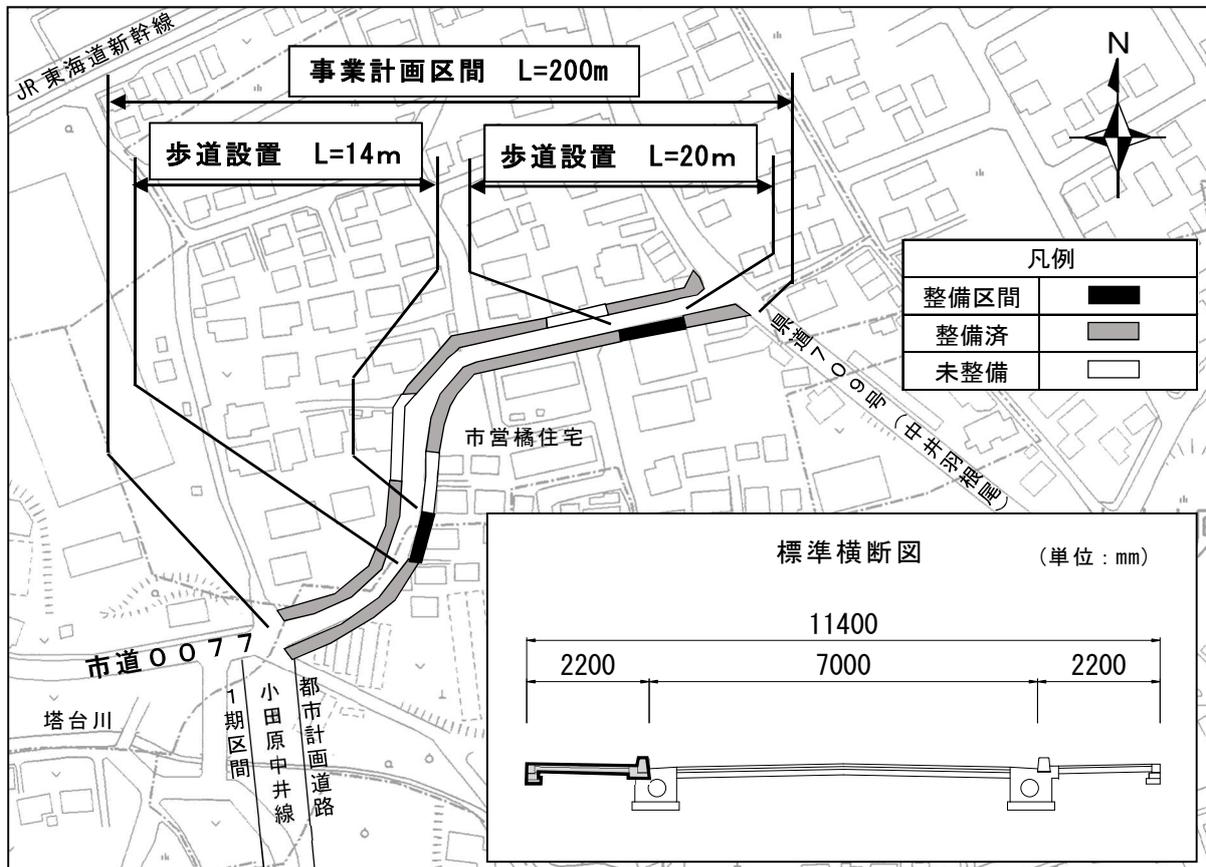
### 1 目的

県施行の都市計画道路小田原中井線 1 期区間の整備を促進するため、県道 709 号（中井羽根尾）とのアクセス確保を図る。

### 2 事業概要

道路改良 延長 34m 幅員 2.2m

### 3 位置図



## 市道 3182 道路改良事業（中曽根地内）について

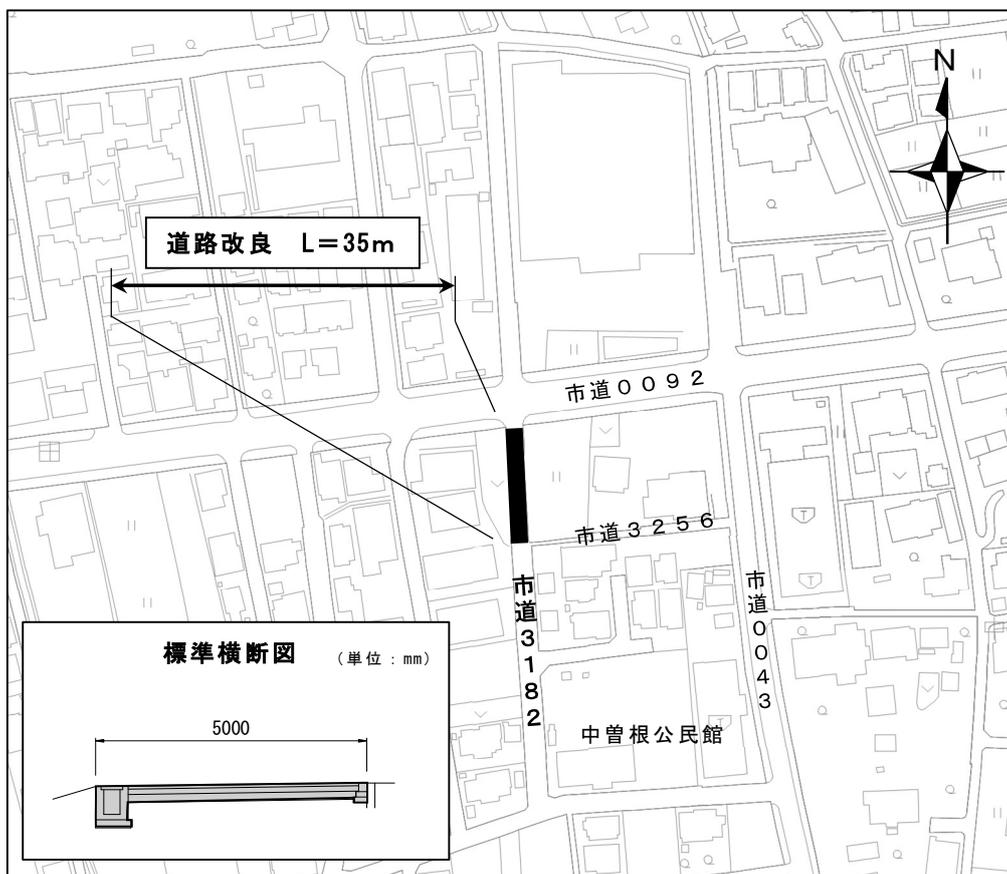
### 1 目的

市道 3182 の狭小区間について、安全で円滑な通行の確保を図る。

### 2 事業概要

道路改良 延長 35m 幅員 5.0m

### 3 位置図



## 市道 0039 道路改良事業（清水新田地内）について

### 1 目的

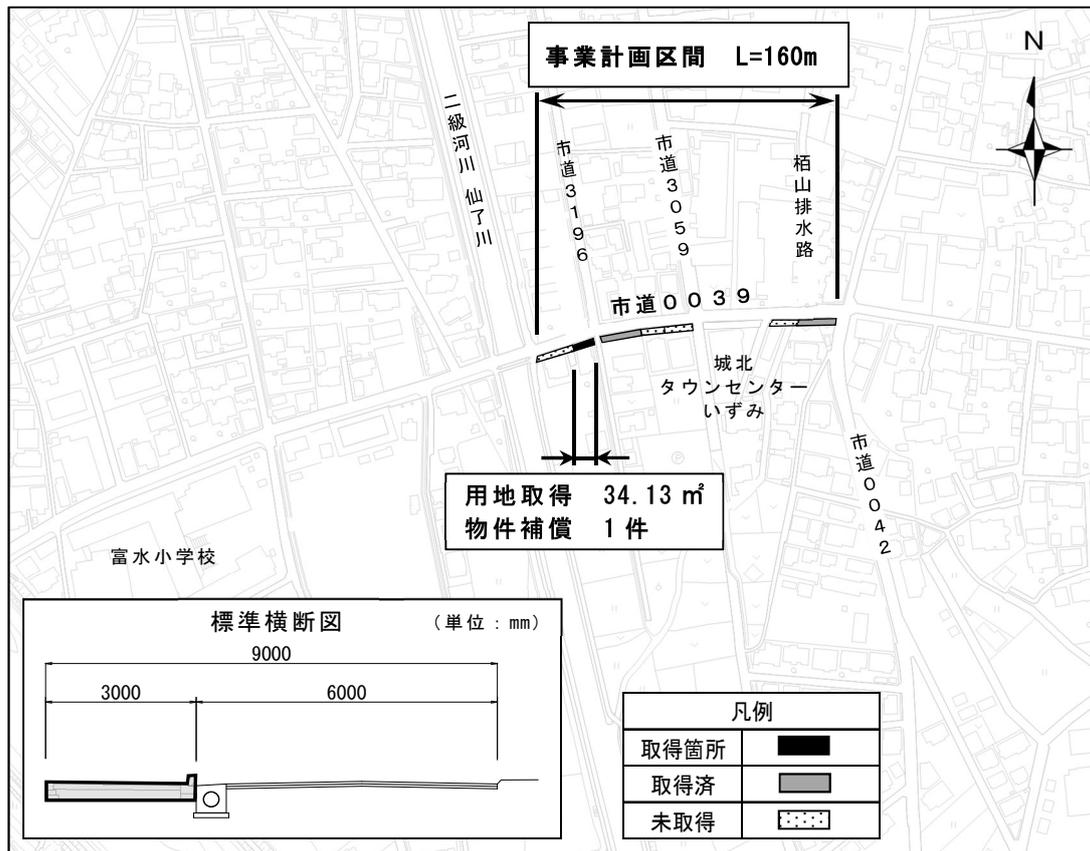
市道 0039 の富水小学校の通学路となっている区間について、安全な歩行空間の確保を図る。

### 2 事業概要

用地取得 面積 34.13 m<sup>2</sup>

物件補償 1 件

### 3 位置図



## 市道 0032 道路改良事業（久野地内）について

### 1 目的

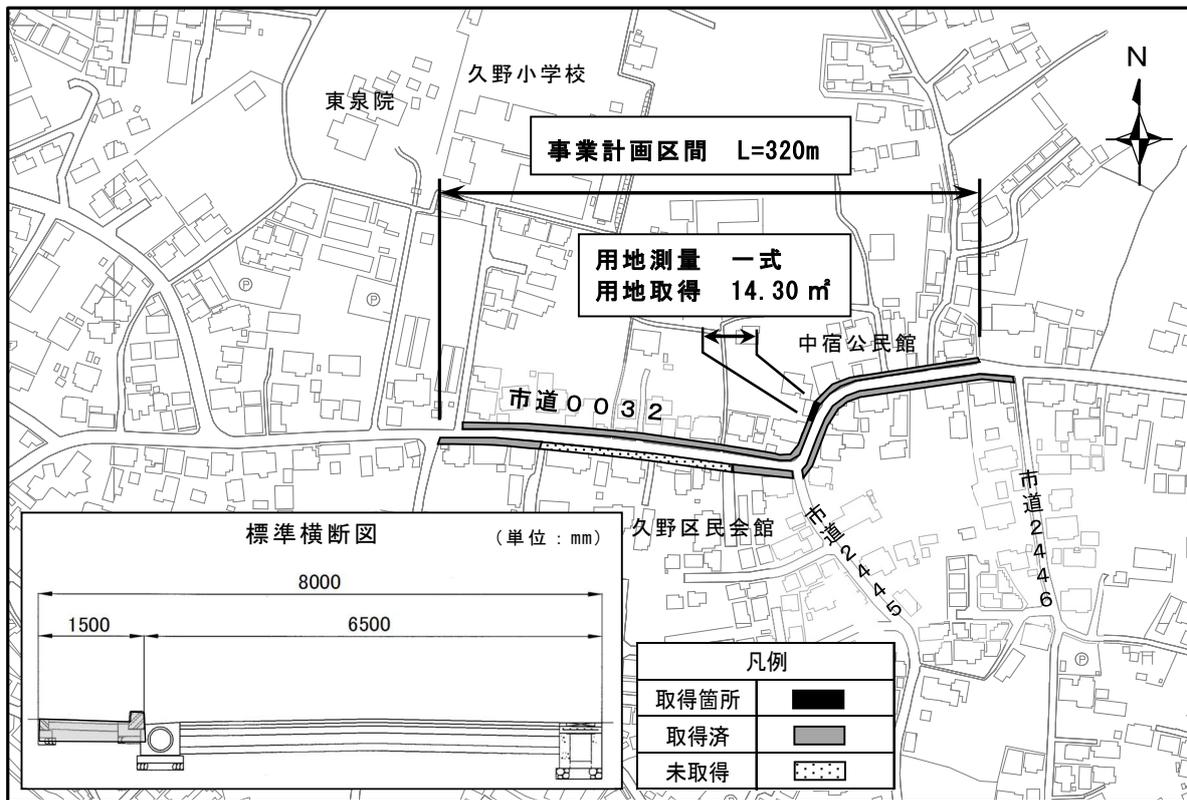
市道 0032 の久野小学校の通学路となっている区間について、安全な歩行空間の確保を図る。

### 2 事業概要

用地測量 一式

用地取得 面積 14.30 m<sup>2</sup>

### 3 位置図



## 足柄 2 号踏切改良事業（井細田ほか地内）について

### 1 目的

県施行の山王川改修事業に合わせ、市道 0031 の足柄小学校の通学路と  
なっている区間に安全な歩行空間を確保する。

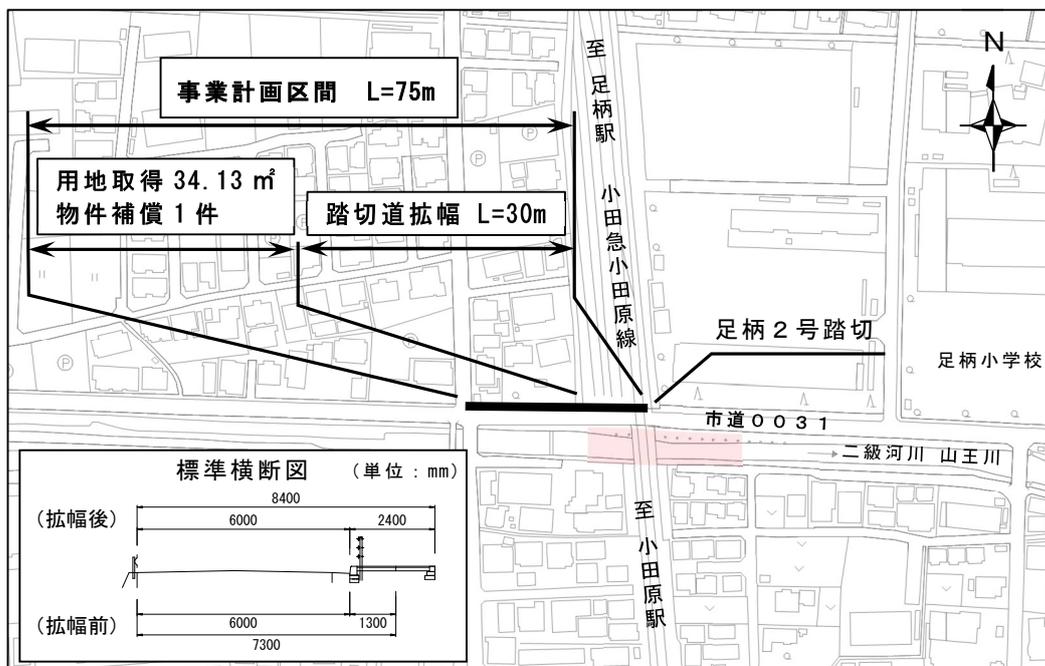
### 2 事業概要

踏切道拡幅 延長 30m 幅員約 7.3m を約 8.4m に拡幅(歩行空間を含む)

用地取得 面積 34.13 m<sup>2</sup>

物件補償 1 件

### 3 位置図



## 準用河川下菊川改修事業（鴨宮地内）について

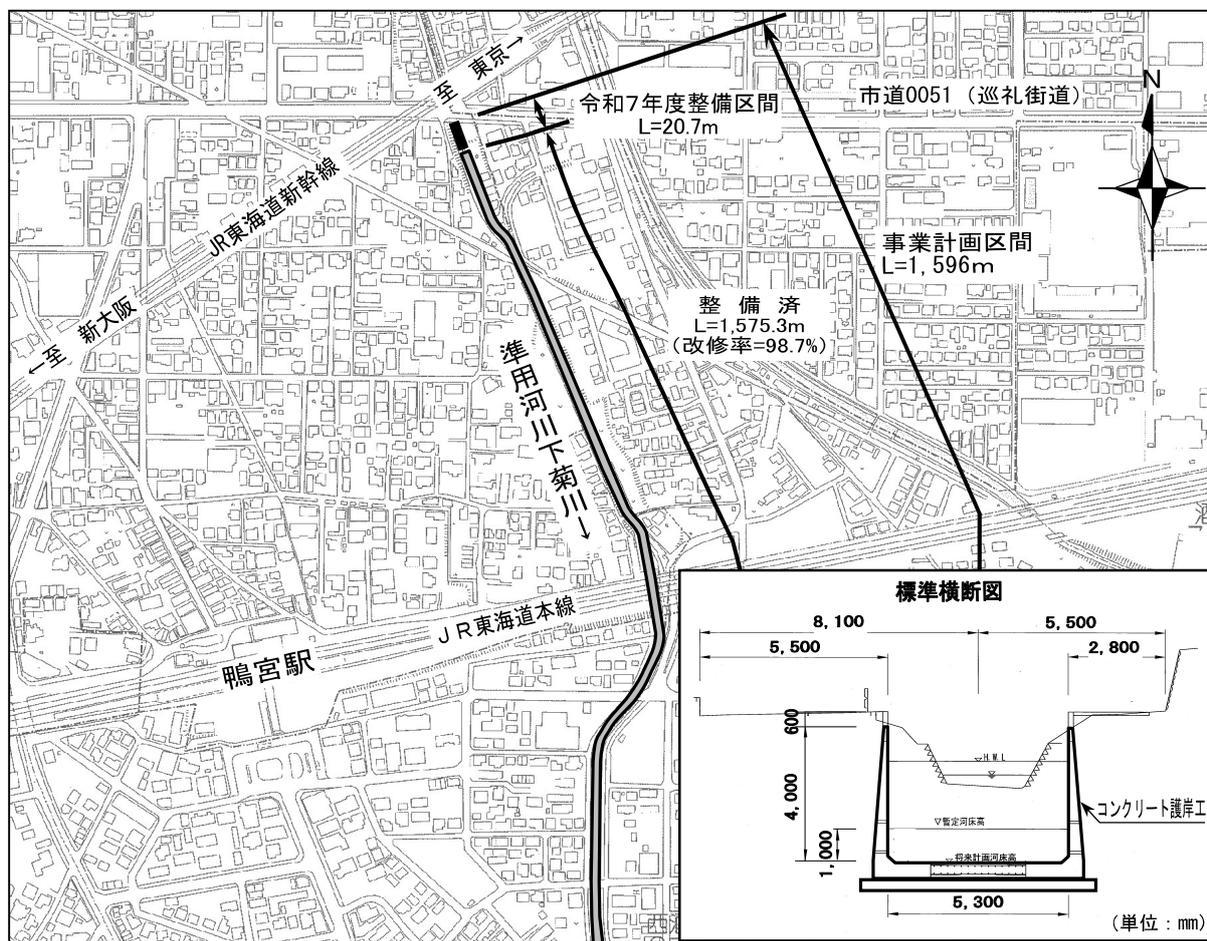
### 1 目的

準用河川下菊川について、台風や局地的豪雨による浸水被害のリスク解消を図る。

### 2 事業概要

コンクリート護岸改修（U5300mm×4000mm） 延長 20.7m

### 3 位置図



## 多自然水路整備事業（曾比地内）について

### 1 目的

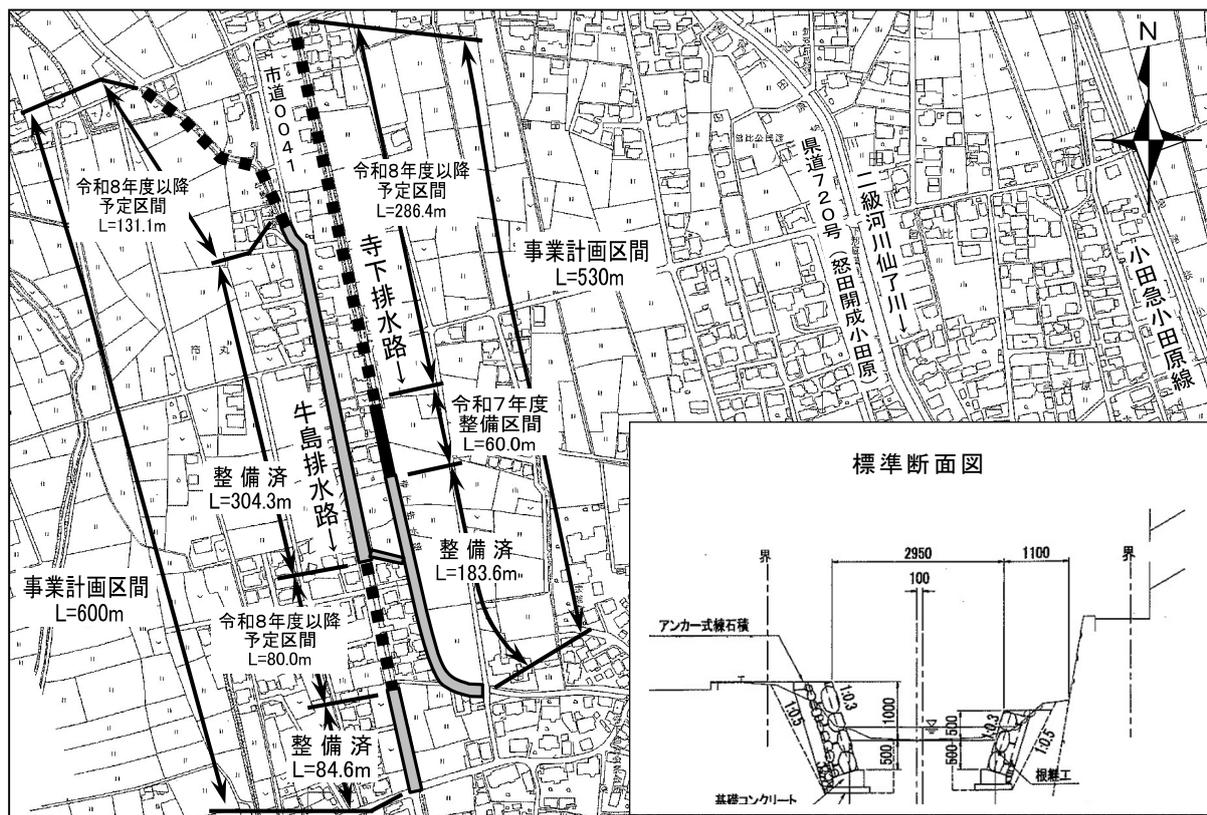
曾比地区の良好な水環境や水辺の原風景を形成している牛島排水路及び寺下排水路について、県の水源環境保全・再生市町村補助金を活用し、環境と景観に配慮した多自然水路の整備を図る。

### 2 事業概要

水質調査業務・動植物実態調査業務

玉石積護岸 延長 60m（両岸）

### 3 位置図



## 市営住宅改修工事について

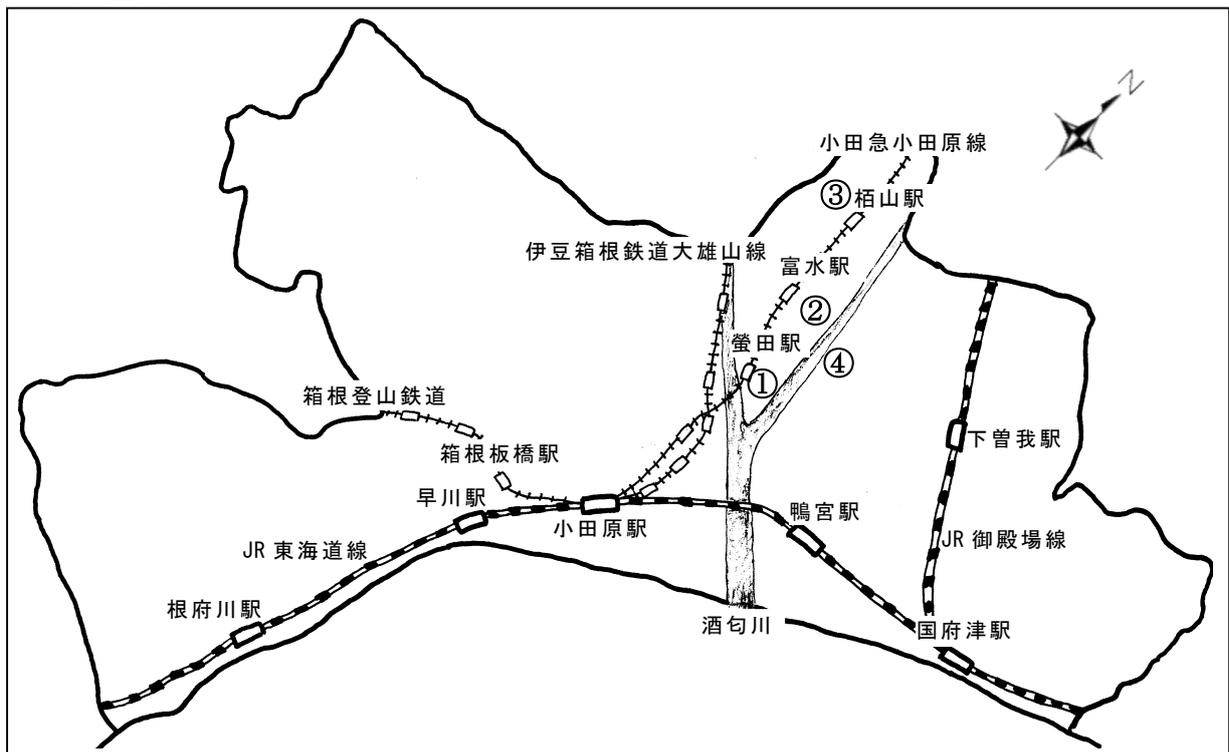
### 1 目的

市営住宅の適正な維持管理を図る。

### 2 工事概要

- (1) 螢田住宅 11号棟外壁改修 (位置図①)
- (2) 柳町住宅 1・3号棟外壁改修、7号棟直結給水改修 (位置図②)
- (3) 浅原住宅 3号棟・集会所階段灯等LED化 (位置図③)
- (4) 桑原住宅 駐車場整備 (位置図④)

### 3 位置図



## 緑の基本計画改訂支援事業について

### 1 目的

本市の緑の基本計画について、平成 28 年（2016 年）3 月の改訂から約 10 年が経過し、その間に都市緑地法などの関係法令の改正や地球温暖化、少子高齢化の進行等、社会状況が変化したことを踏まえ、これらに対応した今後の緑地の保全及び緑化を推進する。

### 2 事業概要

ふるさとみどり基金を活用し、緑の基本計画改訂に必要な現況調査、住民意識調査、緑の施策と課題の整理、緑の基本方針案の検討・作成等を行う。

### 3 業務内容

- (1) 本市の緑地及び環境基本調査
- (2) 住民意識調査
- (3) 緑の施策と課題の整理
- (4) 緑の基本方針案の検討・作成

# 一般会計 土木費 予算説明資料

( 都 市 部 )

資 料 名	担当課	頁
建築物耐震化促進事業費補助金について	建築指導課	1
歴史的風致維持向上計画推進事業（歴史的風致形成建造物改修整備費補助金）について	都市政策課	3
都市空間デザイン事業について	都市政策課	4
景観形成修景事業について	都市計画課	6
市街地再開発事業（優良建築物等整備事業補助金）について	都市計画課	7
マンション管理適正化事業について	都市政策課	8
路線バス等移動手段確保維持対策事業（路線バス空白時間帯等補完実証事業）について	地域交通課	9
路線バス等移動手段確保維持対策事業（地域公共交通確保維持費補助金）について	地域交通課	12
小田原駅周辺駐車対策事業について	地域交通課	13

## 建築物耐震化促進事業費補助金について

### 1 目的

耐震性が不足している木造住宅や建築物に対し、耐震化に係る費用の一部を助成することにより、建築物の耐震化率の向上を図る。

### 2 事業概要

「小田原市耐震改修促進計画」に基づき、市内に存在する昭和 56 年（1981 年）5 月 31 日以前に建築された耐震性のない木造住宅や建築物を対象とした耐震診断、耐震改修工事及び除却工事等への事業費を補助する。

ただし、非木造建築物については、緊急輸送道路沿道建築物及び多数の者が利用する建築物における耐震診断、耐震改修工事等への事業費を補助するものである。

### 3 予算額

15,750 千円

### 4 財源

国庫補助金：社会資本整備総合交付金（1/2）

県補助金：市町村地域防災力強化事業費補助金（1/4）

## &lt;参考&gt;

(表 1) 住宅の耐震化の目標と推移

計画策定・改訂年度		平成 20 年度	平成 27 年度	令和 3 年度	
住宅の 耐震化率	推計値	72.1%	84.2%	90.0%	
	目標値	90.0% (平成 27 年度まで)	95.0% (令和 3 年度まで)	95.0%超え (令和 7 年度まで)	おおむね解消 (令和 12 年度まで)

小田原市耐震改修促進計画（令和 4 年 3 月）より抜粋

(表 2) 住宅耐震化率（令和 6 年 4 月 1 日時点）

	住宅戸数	耐震性無戸数	耐震化率
木 造	54,540	6,070	88.9%
非木造	25,577	660	97.4%
総 数	80,117	6,730	91.6%

# 歴史的風致維持向上計画推進事業 (歴史的風致形成建造物改修整備費補助金) について

## 1 目的・事業概要

本市の歴史的風致を形成する上で必要かつ重要な歴史的風致形成建造物について、保全・活用を促し、歴史的風致の維持向上を図るため、「小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)」に定めた重点区域(小田原旧城下町・板橋区域、面積:約425ha)において、指定した民有の歴史的風致形成建造物の改修整備に対し、事業費の2/3(上限3,000千円)を補助する。

## 2 対象

- (1) 対象物件 三淵邸・甘柑荘(板橋822番地)  
昭和11年頃建築、木造平屋建棧瓦葺
- (2) 指定等 歴史的風致形成建造物(令和6年(2024年)5月14日指定)
- (3) 補助対象 屋根瓦の葺替え、木製戸袋・井戸屋形の修繕 等



3 予算額 3,000 千円

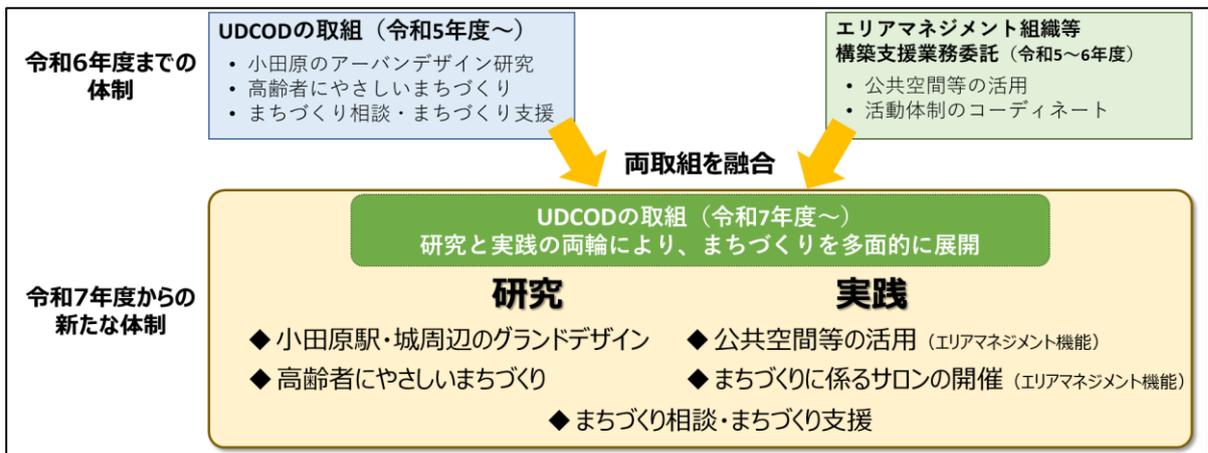
4 財源 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業・補助率1/2)

## 都市空間デザイン事業について

### 1 目的

市街地開発による街並みの変化や、まちなかの居住人口の増加に伴う転入者とのコミュニティ形成、まちなか空間の有効活用など、様々な課題に対応するため、公・民・学が連携した組織であるUDCOD（アーバンデザインセンター小田原）が中心となり、地域住民や事業者等の主体的な取組による良好な都市環境やまちの魅力・価値の維持・向上を目指す。

### 2 UDCODの新たな体制



### 3 事業概要（令和7年度UDCOD活動予定）

#### (1) まちづくり研究活動

地域資源を生かしてまちの魅力を高めるため、小田原駅・小田原城周辺のグランドデザインや豊川地区をモデルとした高齢者にやさしいまちづくり（エイジフレンドリーシティ）などの調査・研究に取り組む。



## (2) まちづくり実践活動

### ア 公共空間等の活用

お堀端通りのポケットパークや弁財天通り沿いの史跡整備予定地等でのこれまでの実証実験の成果を基に、小田原城周辺に点在する公共空間の活用を定着させるための取組を進める。また、新たに対象地域を広げ、空き施設も視野に入れた活用と活動体制のコーディネートを進める。



(2) まちづくり実践活動  
実証実験ステキなみちくさ①  
(立体文字モニュメント)



(2) まちづくり実践活動  
実証実験ステキなみちくさ②  
(遊具などを備えた棚)

### イ まちづくりに係るサロンの開催

公民連携をテーマとしたサロンを開催し、民間事業者のUDCODへの参画を図る。

## (3) まちづくり相談・まちづくり支援

地域からの相談に応じて、アドバイスや提案などのまちづくり支援を行う。令和7年度は、西海子小路周辺地区への支援を継続して行う。



(3) まちづくり相談・まちづくり支援  
西海子小路周辺地区のまちづくり支援  
(子どもの遊び場調査)

## (4) 情報発信等

UDCODの活動を周知するため、シンポジウムの開催やSNS等を利用した情報発信、活動報告書の作成を行う。

4 予算額 UDCOD負担金 14,000 千円

5 財源 都市構造再編集集中支援事業費補助金 (補助率 1/2)

## 景観形成修景事業について

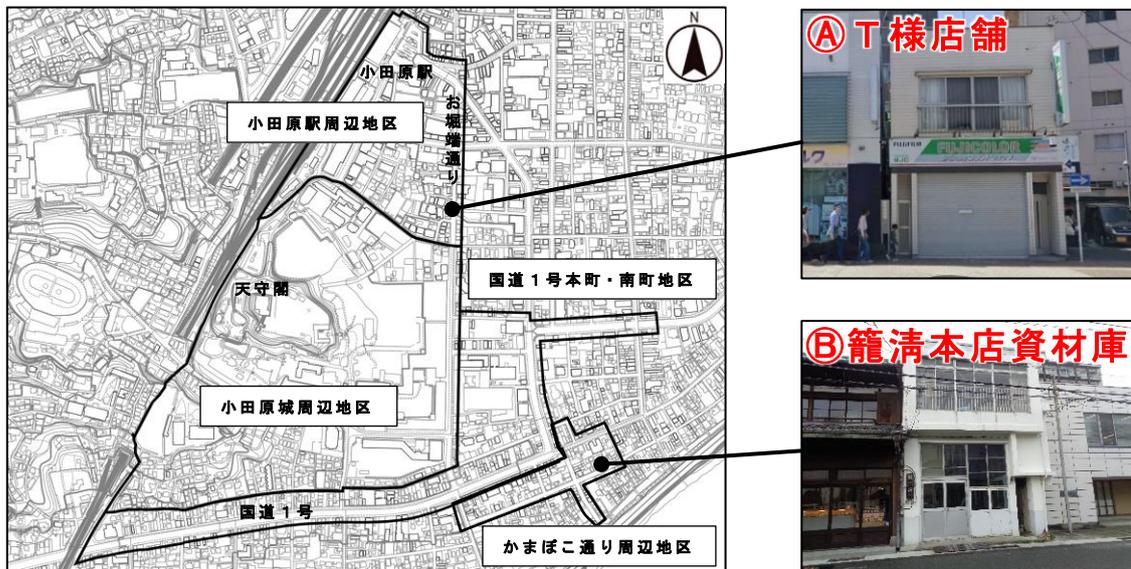
### 1 目的・事業概要

4つの景観計画重点区域(小田原城周辺地区、小田原駅周辺地区、国道1号本町・南町地区、かまぼこ通り周辺地区)の街なみ環境整備を進めるため、良好な景観形成に寄与する修景施設整備に対し、事業費の2/3(上限1,500千円)を補助する。

### 2 対象

① T様店舗：小田原駅周辺地区

② 籠清本店資材庫：かまぼこ通り周辺地区



3 予算額 3,000千円

### 4 財源

社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業・補助率1/2)

## 市街地再開発事業（優良建築物等整備事業補助金）について

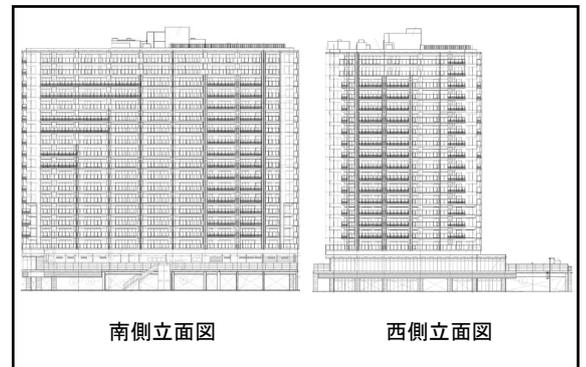
### 1 目的

敷地の共同化に伴う建築物や空地等の整備により、市街地環境の改善や良好な市街地住宅の供給等を促進する。

### 2 事業概要

市街地の整備・改善を図りながら、街なか居住を促進するため、小田原EPOを含む8棟(栄町二丁目地内)の建替えに対して、事業費の一部を補助する。

事業者：MIRARTHホールディングス株式会社  
構造：鉄筋コンクリート造 19階建 地下1階  
総事業費：約 180 億円(補助対象事業費：約 45 億円)  
敷地面積：約 5,620 m<sup>2</sup>  
建築面積：約 3,580 m<sup>2</sup>  
延べ面積：約 42,580 m<sup>2</sup>(容積対象：約 28,870 m<sup>2</sup>)  
建蔽率・容積率：約 64%・約 514%  
住戸数：286 戸  
建築物の高さ：約 60m  
事業期間：令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）まで



### 3 予算額 165,900 千円

(1) 優良建築物等整備事業補助 158,000 千円(国交付金 1/2:79,000 千円)  
令和7年度(2025年度)分の補助対象事業費 474,000 千円(共同施設整備費等)に対して、市は3分の1を上限に補助する。

(2) 市独自の補助 7,900 千円

優良建築物等整備事業補助金額に、次の該当項目数に応じた補助率を乗じて得た額を補助する。

項 目
① 70 平方メートル以上の住戸数が 3 分の 2 以上
② 幅員 2 メートル以上の歩道状空地を確保
③ 耐震性不足の要緊急安全確認大規模建築物又は要除却認定を受けたマンションの建替え
④ 耐震改修促進計画における緊急輸送道路沿道建築物の建替え

該当項目数	補助率
1	1%
2	3%
3	5%
4	8%

## マンション管理適正化事業について

### 1 目的

令和5年3月に策定した小田原市マンション管理適正化推進計画に基づき、令和5年度に実態調査を行った。

この実態調査において、管理組合が求める支援策として、意見交換の場の提供や専門家によるアドバイスが挙げられていたことなどから、令和6年8月に計画を改定し、これら施策を位置付けた。

これを受け、計画に位置付けた事業を実施し、マンション管理の適正化を推進していく。

### 2 事業概要

専門家であるマンション管理士を交えた「管理組合の交流会」を実施し、管理組合間におけるマンション管理の悩みごと等の情報交換の場を提供する。

#### (1) 対象

市内マンション管理組合 128 組合

#### (2) 実施回数

年1回

### 3 予算額

40 千円 (1 回×2 名×20 千円)

内訳 報償費 マンション管理士等謝礼

## 路線バス等移動手段確保維持対策事業 (路線バス空白時間帯等補完実証事業) について

### 1 目的

公共交通不便地域において、地域のニーズと実情に応じた移動支援策を選定するため、第4弾の実証事業を行い、引き続き、効果や実現可能性について検証する。

### 2 事業概要

#### (1) 相乗りタクシー「おだタク」

誰でも利用できる相乗りタクシーの利用状況検証を行う(新ダイヤで運行)。

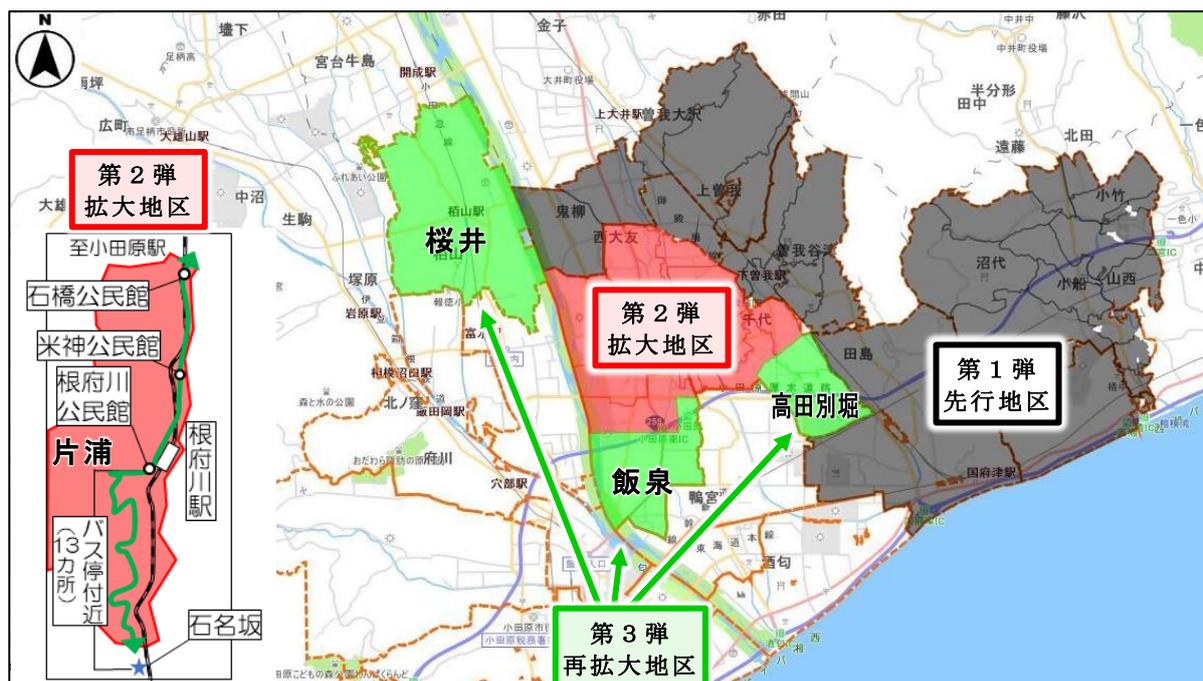
	第3弾 (R6.11~R7.3)	第4弾 (R7.4~R7.10)
運行地区	片浦(小田原駅~石名坂)	
運行日数、運賃	週2日、1便600円(乗車人数に応じて案分)	

#### (2) タクシー・路線バス共通助成券「おだチケ」

対象地区在住の70歳以上の運転免許証非保有者等を対象に、共通助成券(2,400円/月相当)を配付し、タクシー・路線バスの利用状況検証を行う。

	第3弾 (R6.11~R7.3)	第4弾 (R7.4~R7.10)
対象地区	曾我、下曾我、国府津、前羽、橘北、片浦、豊川、上府中、桜井	
対象者	①70歳以上・運転免許証非保有者 ②妊婦	
利用できるバス事業者・路線	富士急モビリティ 神奈川中央交通 箱根登山バス	乗り継ぎ等、対象地区以外の路線でも利用可能 ※一部路線は利用不可
助成金額	12,000円(5カ月分)	16,800円(7カ月分)

### 3 事業地区(地区自治会連合会の区域)



相乗りタクシー「おだタク」	共通助成券「おだチケ」
第1弾 前羽	第1弾 先行地区
第2弾 前羽 + 下曾我・国府津 + 片浦	第2弾 先行地区 + 拡大地区
第3弾 片浦	第3弾 先行地区 + 拡大地区 + 再拡大地区
第4弾 片浦	第4弾 先行地区 + 拡大地区 + 再拡大地区

### 4 予算額

55,652 千円

内訳 役務費 2,054 千円 助成券郵便料

補助金 48,984 千円 タクシー・路線バス共通助成券

委託料 相乗りタクシー運行、助成券印刷製本・封入封緘

### 5 財源

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 (国 10/10)

## 6 第3弾の実施状況

### (1) 相乗りタクシー「おだタク」

#### ①利用実績 [1週当たり]

地区	第2弾(R6.4~R6.10)				第3弾(R6.11~R6.12)※中間			
	運行日数	運行便数	平均乗車便数	平均利用者数	運行日数	運行便数	平均乗車便数	平均利用者数
片浦	2日	22便	11.3便	17.9人	2日	20便	10.1便	18.2人

### (2) タクシー・路線バス共通助成券「おだチケ」

#### ①申請者数 (令和7年1月28日現在)

	対象者数(A)	申請者数(B)	申請率(B/A)	配付金額(B×12,000円)
70歳以上	6,971人	3,171人	45.5%	38,052,000円
妊婦	199人	199人	100%	2,388,000円

※対象者数(A・運転免許証非保有者数)=70歳以上人口-運転免許証保有者数  
妊婦は運転免許証非保有条件なし(申請不要)

#### ②利用者数・利用金額(利用期間:令和6年11月1日~12月31日)

		タクシー	路線バス	合計
延べ利用者数	11月~12月	5,913人	6,110人	12,023人
	利用割合	49.2%	50.8%	
利用金額	11月~12月	7,379,900円	2,206,300円	9,586,200円
	利用割合	77.0%	23.0%	

・おだチケ保有者3,370人の利用金額の利用率は約23.7%

※利用率=利用金額(9,586,200円)÷配付金額(40,440,000円)

## 7 今後の移動支援策の実証事業に向けて

令和8年度にAIオンデマンド交通の実証事業を開始できるよう、関係機関等と調整を進めている。

### 【今後の移動支援策の実証スケジュールの目安】

	令和7年度	令和8年度	令和9年度~
おだタク(片浦)	R7当初予算		
おだチケ	R7当初予算		
AIオンデマンド			

## 路線バス等移動手段確保維持対策事業 (地域公共交通確保維持費補助金) について

### 1 目的

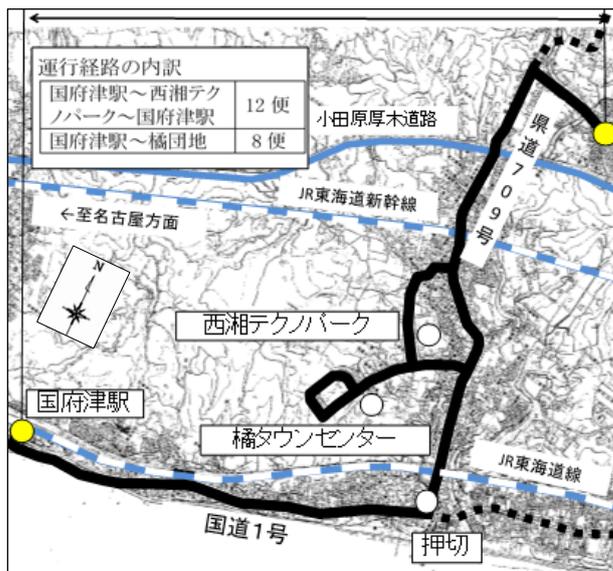
市域で不採算の路線を運行するバス事業者に対し、運行維持に必要な経費を補助することで、市民生活に欠かせない移動手段を維持・確保する。

### 2 事業概要

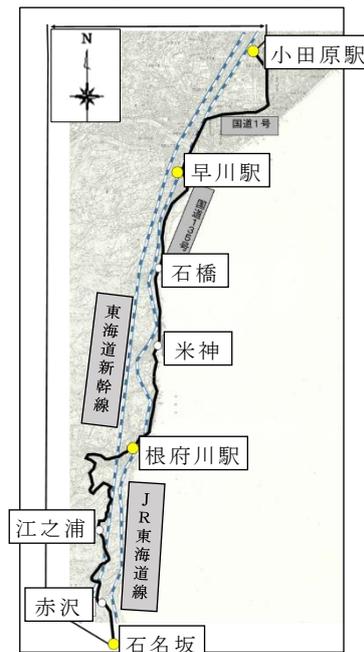
バス事業者単独で路線を維持することが困難となり、退出または減回の申出があった路線について、神奈川県生活交通確保対策地域協議会において調った協議結果に基づき、運行経費と運賃収入との差額を補助する。

### 3 対象路線

#### ① 国府津駅～橘団地 (20 便/日)



#### ② 小田原駅～石名坂 (10 便/日)



### 4 予算額

8,609 千円

① 国府津駅～橘団地 2,809 千円 (運行経費と運賃収入との差額の 1/2)

② 小田原駅～石名坂 5,800 千円 (運行経費と運賃収入との差額全額)

## 小田原駅周辺駐車対策事業について

### 1 目的

栄町駐車場及び小田原駅東口駐車場について、2つの駐車場の満空情報の表示を行い、入口付近での渋滞や駐車場周辺道路の交通の混乱を防ぐことなどを目的とする。

### 2 事業概要

満空情報表示板で使用しているNTTドコモの3G回線が令和8年3月末にサービスの提供を終了することから、4G回線に対応したデータ通信装置への交換・設定変更作業を行う。

### 3 予算額

1,065 千円

### 4 位置図等

